

NEWSRELEASE(2025年8月25日)取材依頼

「学ぶ」と「はたらく」を繋ぐ、キャリア教育プログラム

「かごしま課題解決型キャリア実習(職業体験)」開催中！

～地域課題の解決に挑む、挑戦と成長の10日間～

報道機関各位

平素より本学の広報活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

鹿児島大学キャリア形成支援センターでは、2025年度夏季休業期間を中心に、学生が地域や企業の課題解決に取り組む「かごしま課題解決型キャリア実習(職業体験)」を実施しております。本プログラムは、県内企業、自治体、鹿児島商工会議所の協力を得て運営しており、今年で6年目を迎えます。

本実習の特徴は、単なる職業体験にとどまらず、学生が実社会の課題に向き合い、自ら課題を発見し、解決策を考え、発表する「課題解決型学習(PBL)」を導入している点にあります。学生は現場での実務体験を通じて現状を理解した上で、自らの視点から解決策を提案し、その過程で「社会人基礎力」「職場適応力」「地域マインド」といった将来のキャリア形成に不可欠な能力を養います。

これまでの取り組みは、「学生が選ぶインターンシップアワード 2021」において優秀賞ならびに文部科学大臣賞を受賞するなど、高い評価を得てきました。また今年度より、本プログラムは、三省合意で定義される「インターンシップ(タイプ3)」ではなく、全学年を対象とした「キャリア教育(タイプ2)」として位置付け、幅広い学生に挑戦と県内での活動の機会を提供しています。

キャリア形成支援センターでは、本実習を通して、学生が地域社会で活躍しつつ、幅広い視点で地域資源の可能性を見出せる人材へと成長することを期待しています。



(事前講座 7/12 学生の様子)

【本プログラムの概要】

- 目的:実務・職業体験と課題解決策の提案を通じて、学生のキャリア形成を産学官協同で支援。
- 特徴:参加学生に対しては事前・事後講座を実施。鹿児島県内に本社を置く企業・団体が受入先対象。学生は事前講座で学んだ内容を踏まえ、最低10日間、現場での実務・職業体験と課題解決活動を並行して行い、最終的に解決策を受入先でプレゼンテーション発表し、提案を行います。
- 期待される効果:学生にとっては就労観やキャリア意識の醸成、課題解決能力の向上につながり、受入企業・自治体にとっては組織の魅力発信や社員・職員の指導力向上、若者の感性を活かしたアイデア獲得の機会となることを目指しています。

【実習時期】

主に8月12日(火)～9月29日(月)の期間で、受入先企業・自治体が定める日程(10日間)

【参加学生】

学部1年6人、2年11人、3年21人、計38人(文系27人、理系11人)
三省合意の改正を受け、今年度からタイプ2:キャリア教育として実施しています。

【受入先事業所】

鹿児島県内に本社・本部を置く、企業、団体、自治体
※受入先への学生派遣の有無の確認および、受入先への取材を希望される際には、一度、下記担当者までご連絡ください。

【受入先による実施詳細プログラム】

https://my.ebook5.net/Kagoshima_University_CC/2025kadai/
(提示している実習日時は、一部変更になっている場合もございます。ご注意ください)



【問い合わせ先】

鹿児島大学キャリア形成支援センター インターンシップ担当(担当:西山・中釜・石川)

電話 099-285-7053

e-mail intern@kuas.kagoshima-u.ac.jp

ホームページ <https://www.kagoshima-u.ac.jp/job/local.html>